

作業療法士として、
これから働き始める「あなた」へ



一般社団法人

日本作業療法士協会

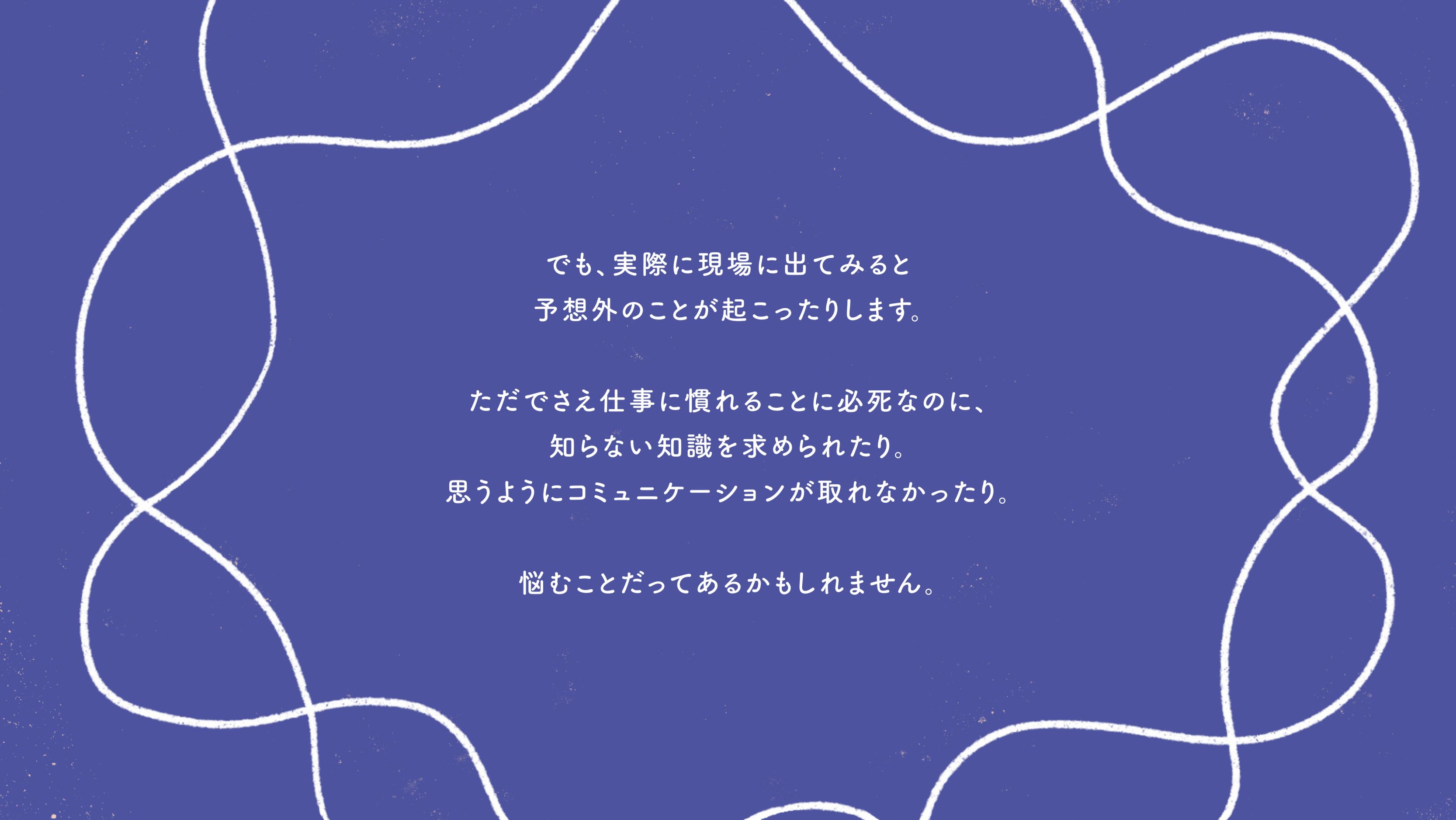
Japanese Association of Occupational Therapists

国家資格を取得すると、
あなたは「作業療法士」として働くことになります。

病院、福祉施設、デイ・ケア、学校など。

働く場所は人それぞれ違うかもしれないけれど、
みんな、同じ「作業療法士」です。





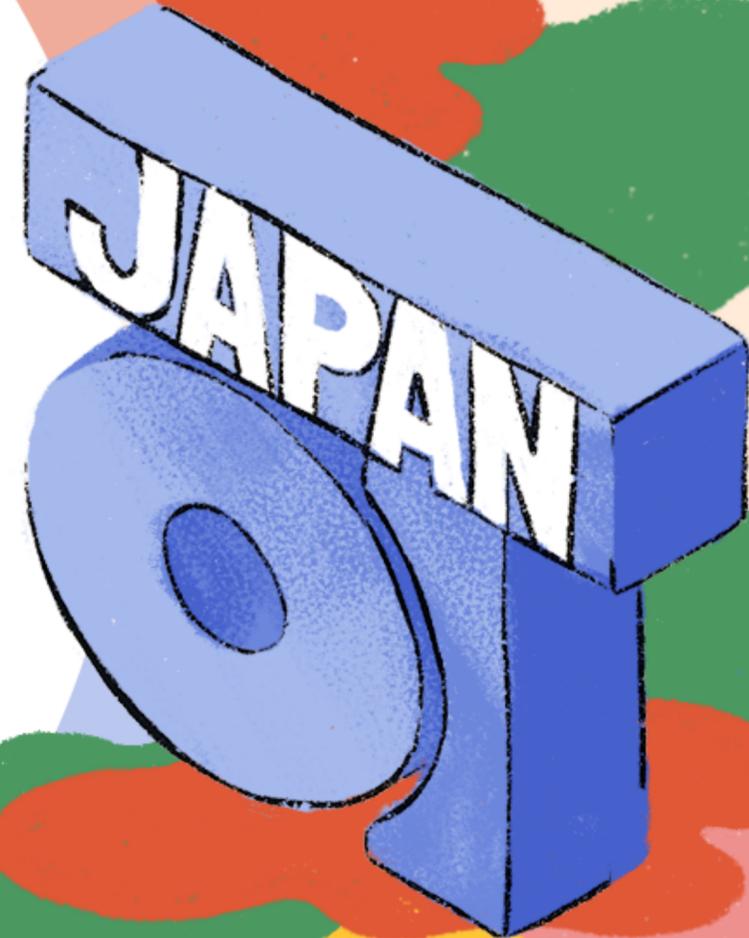
でも、実際に現場に出てみると
予想外のことが起こったりします。

ただでさえ仕事に慣れることに必死なのに、
知らない知識を求められたり。
思うようにコミュニケーションが取れなかったり。

悩むことだってあるかもしれません。

そんな時、
あなたが安心して「作業療法士」として
歩み続けられるように支援する。

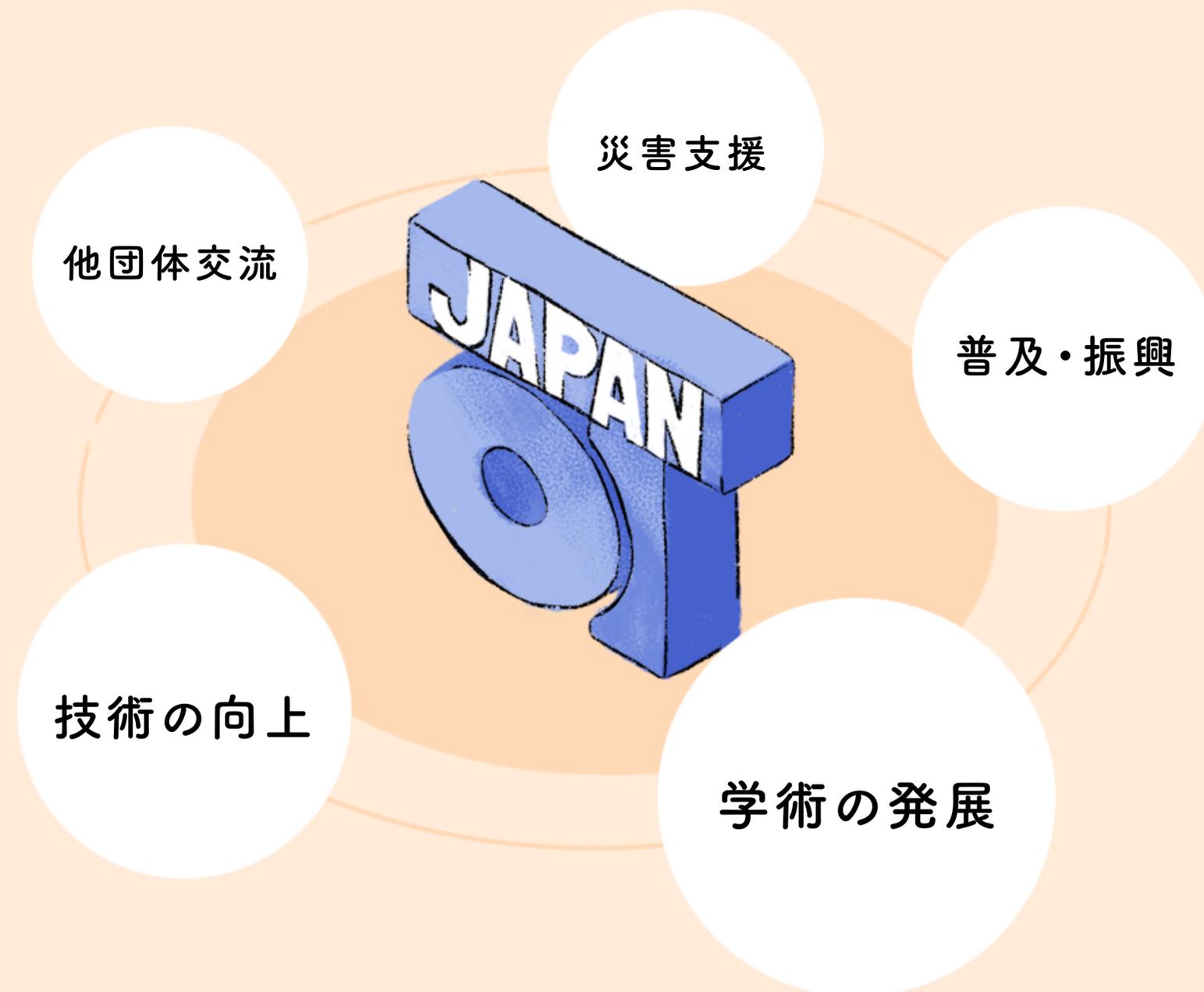
日本作業療法士協会は、
そんな組織でありたいと思い
日々、活動を行っています。



日本作業療法士協会って、 どんな会？

遡ること、今から約60年。

個人のみだけでは作業療法の知識や技術を
高め続けることは難しいと考えた作業療法士たちが、
力を合わせてつくった組織です。



基本理念

作業で暮らしに彩りを

作業（Occupation）はすべての人にとって大切な生活行為や心身の活動であり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという確信が、私たちにはあります。

この「基本理念」は、作業療法の対象者だけではなく会員である作業療法士自身のために掲げたものでもあります。

世の中にどれだけ「作業療法」が求められたとしても。

作業療法士たち自身が、心も身体も健康で
“自分らしく生きる”ことができれば、
誰かに喜びや幸せを届けることはできませんよね？

だから、

日本全国の作業療法士たちが
安心して働き、学び、成長できるように。

色々な声に耳を傾けながら、
作業療法を取り巻く環境を、社会を変えていきたい。

そんな想いを胸に、協会は活動を続けています。

では、具体的にどんな活動を行っているのか？

ここから**3**つのポイントに分けて、
ご紹介したいと思います。

01

学び
Skill up

プロとしてのスキルアップ

02

支え
Support

さまざまな制度や福利厚生

03

仲間
Peer

領域や地域を超えたつながり

「知りたいこと」が知れて、
「学びたいこと」が学べる。

情報が溢れている時代だからこそ、
しっかりと正しい情報が得られる環境を整えることも大切です。

さまざまな研究、研修、最新情報で
作業療法の視野を広げましょう

会員しか受けられない「研修会」や
領域を超えた「情報交換会」や「意見交換会」などもあります。
全国どこからでも参加しやすいようにオンラインでも開催しています。



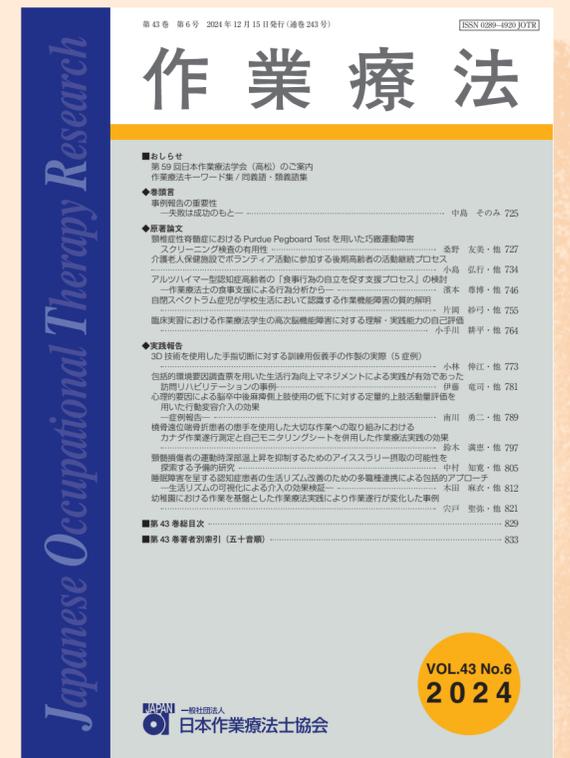
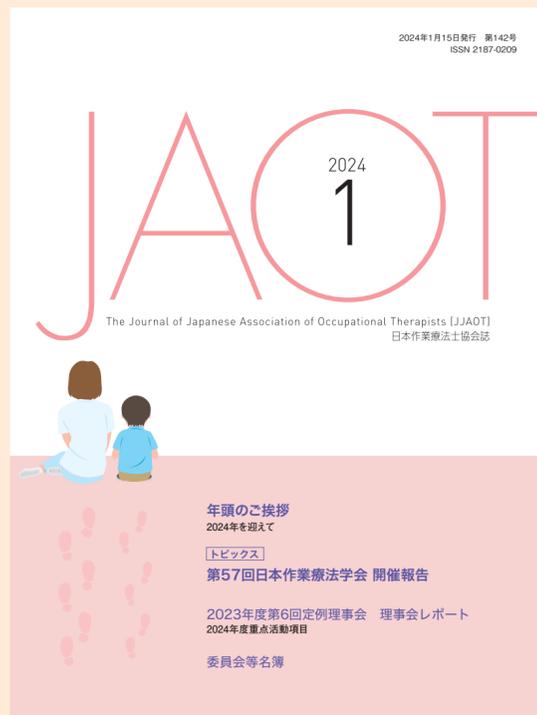


定期的に開催されている学会では、
全国から領域を超えたたくさんの作業療法士が集まり
研究成果を発表したり、最新の学術知識を得る機会になっています。

※会員になると会員価格で参加することができます！



協会の活動、国や法制度の動き、学会や研修会に関する情報が掲載されている
機関誌『日本作業療法士協会誌』や研究論文や実践報告など
最新の研究成果が掲載されている学術誌「作業療法」をお届けします。



生涯学修制度

より良い作業療法を提供するために、
作業療法士としてずっとスキルアップし続けることができます。

作業療法士国家資格取得



臨床能力実績

専門作業療法士の各分野が指定する要件の取得

取得と更新

他にも、研究に対して研究費を助成する制度や、
海外研修に対する助成制度などもあります。

課題研究助成制度

取り組みたい研究がある！



海外研修助成制度

海外の学会に参加してみたい！



そんな方がいたら、ぜひこの制度を活用して下さい！

作業療法業務中の過失により損害賠償請求を受けるなど、
万が一のことが起こっても大丈夫なように
「作業療法士賠償責任保険制度」を用意しています。

もちろん職場で別途加入される方もいらっしゃるかもしれませんが、
すべての作業療法士が安心して働けるように
協会に入会して会費を払うと、面倒な手続きをせずに
自動的に保険に加入できるような仕組みになっています。

※自動加入できるのは「基本プラン」ですが、もっと補償の手厚い「上乗せ補償プラン」の用意もあります。

※その他、所得補償保険・がん保険・医療保険・自動車保険、その他保険にも団体割引価格にて加入できます。

03 仲間 領域や地域を超えたつながり

組織や領域を超えた、
たくさんの作業療法士たちが集まる協会の一番のメリット。

それは「仲間ができる」ということ。



03 仲間 領域や地域を超えたつながり

たとえ勤務先では触れることのない領域だったとしても、
活動を通して色々な人とつながることで
知識や経験を共有することができるので、
自分自身の、作業療法士としての視野を広げ、成長することにつながります。



職場では話せない悩みだって語り合えるのでは？

最後に、皆さんに質問です。

Q

あなたは、これから
どんな作業療法士になりたいですか？

時代が変わり、 作業療法の「領域」や「職域」は 大きく変化しています。

地域で重要な役割を担ったり、司法領域で働いたり、
今までなかった職域で活躍する作業療法士も増えました！

5歳児健診

教育委員会・学校

少年院・刑務所

地域包括支援センター

しかし、「作業療法士」を取り巻く環境は決して完璧とは言えません...

協会が国に働きかけることで、
作業療法士への報酬が上がったり、職域も広がってきました。
しかし、時代の変化とともに課題は次々とあらわれます。
解決するには、時間も、一緒に活動する仲間も必要です。

そこで「日本作業療法士協会」と「都道府県作業療法士会」は、
常に協力しながら活動を続けています。

国・厚生労働省

日本作業療法士協会

診療報酬の改定や
賃金・制度等に対する政策提言

都道府県作業療法士会

イベント出展や啓発活動など
それぞれの地域に根差した活動

自治体・地域住民

全国組織だけでは、地域に根付いた活動ができません。
地方組織だけでは、国に意見・要望を通すことは難しい。

でも、

「日本作業療法士協会」と47の「都道府県作業療法士会」が協力しながら
活動を続けることで、作業療法士を取り巻く環境は改善できる。

それは、より良い作業療法を提供することにもつながります。

みんなで環境を改善するためにも、
「協会」と「都道府県作業療法士会」の両方に入会して活動しよう！



支えあい、高めあう。

1人でも多くの方々に「作業療法」を届けるために。
あなたが目指す、理想の「作業療法士」となるために。

すべての作業療法士が、
自分らしく色とりどりの人生を送るために。

みんなで手を取り合って、
一緒に活動していきませんか？